



令和元年度 阿佐ヶ谷中学校 第5回学校運営協議会 会議録

日時 令和元年 10月 26日(土)

10:00～11:20

会場 阿佐ヶ谷中学校 校長室

出席者

《協議会委員》 石井 良典
岩間 功
大石 秀明
河村 正明
鈴木 政俊
武田 裕美
守谷 賢二
諸橋 記子
柳澤 正
横山 智彦

《阿佐ヶ谷中学校事務局》

佐々木 啓之(副校長)
長谷川 祐子(嘱託事務)

傍聴

1 学年保護者 安東

校長 小澤 雅人



小 澤

台風の影響で不安定な天気が続いています。昨日はジャズストリート初日でしたが、夕方まで激しく雨が降っていました。今日はジャズストリート二日目です。アリーナで阿佐ヶ谷中学校の吹奏楽部が演奏しますので、会議を11時半前に終わらせて鑑賞しに行きたいと思っています。今日は傍聴に1学年保護者の安東さんがいらしています。

活動報告です。台風が心配だった修学旅行ですが、本校は台風の影響を受けずに無事に行くことができました。国の外国人渡航者の推進やオリンピック・パラリンピック開催もあって外国人観光客が増え、京都・奈良の宿泊先の確保が難しくなってきました。阿佐ヶ谷中学校規模の学校だと、施設を探すのが大変です。今まで受け入れてもらっていた施設が外国人向けのホテルになってきています。朝食も仕出し形式になり、学生対象になるとアレルギー対応も大変だとのことで受け入れ先が減っています。

JR との話し合いで北陸新幹線を利用した修学旅行はどうかという話がでています。台風の時の列車の代替えは今後対応してもらえそうだが、見学先のキャンセルができない等受け入れ先の対応が十分ではないので、なかなかすぐには移行できないかもしれない。東京都の中学校で東北に行くのは1~2%位です。

和田中は上越新幹線を使って六日町での農業体験や現地家族との交流をしているようです。

今のところ本校は来年度も奈良・京都の予定ですが、消費税が上がったこともあり、その次の年からの修学旅行先を見直していく必要があります。

10月16日文化発表会舞台部門(合唱コンクール)がありました。杉並公会堂で良い発表ができました。残念ながら例年の小学校との交流が台風のために杉六小の遠足が合唱コン当日に延期となり、杉七小だけの参加になってしまいました。この交流は続けていきたいです。

10月30日のマラソン大会に向けて練習中です。男子6キロ、女子4キロを走ります。”学校の棚卸し”という事で今後マラソン大会の在り方について考えていかなければと思っています。その翌日は1年生が全日本音楽教育研究発表会全国大会で”江戸木遣り”の授業発表をします。1クラスが発表するのですが、鑑賞することも勉強になるので1学年全員で府中の森芸術劇場へ行き、午後はプラネタリウム鑑賞をします。

11月2日の土曜日授業では、阿佐中が震災救援所となる震災訓練を行います。1年生を対象におやじの会の協力で消火訓練を行う予定です。10月12日に台風で中止になってしまった視覚障害者(リオに出場した走り幅跳びのパラリンピアの方)による講演を、1月11日に行う予定です。

来年度のオリンピックは天候や気候の事で心配されています。猛暑の場合はキャンセルすることもできますが、東京でできるのは次いつになるかわからないので、できたら子どもたちに見せてあげたいと思っています。

小 澤 柳澤さんは合唱コンお見えになっていましたね。いかがでしたか？
 柳 澤 朝早く行って、開会前の木遣りから鑑賞しました。とても感動しました。合唱はチームワークや意欲が感じられました。校長先生の指揮もよかった。横山さんと一緒に見ました。みんな上手なので審査が難しいのではないですか？
 小 澤 今年度は学校の音楽教育でも著名な金澤先生に来ていただきました。講評も子どもたちに解りやすくしてくださいました。
 横 山 整然とした雰囲気の中で粛々と進められていくのがよかった。1年生から2年生と学年が一つ上がると格段にうまくなっていくのを感じられました。



開会式前の木遣り



3年生合唱



校長先生の指揮で職員合唱



吹奏楽部と職員のコラボ演奏

小 澤 杉並公会堂で合唱コンを行えるというのが大きいと思います。次の学年や小学生にも良い印象を与えられ、翌年阿佐ヶ谷中に入學してもらえます。
 横 山 合唱の前にクラス紹介で「不協和音のあったクラスですが…」という言葉がありました。一つにまとまるまでにクラスで色々な事があったのでしょうか？普通男子がやりたがらなかったりしますよね。
 鈴 木 クラスで衣装をそろえたりしますか？
 小 澤 クラスがまとまっていくのには時間がかかりますが、皆熱心に取り組んでいました。衣装をそろえたりする時代もありましたが、今はそれよりも歌を聞いてほしいという事で特にそろえたりしていません。

小 澤 府中の森でやるような合唱の大会にはでないんですか？
 柳 澤 今は合唱部がないので出ていません。文化部についても色々と考えていかなくては
 いけませんね。吹奏楽部も運動部より練習が大変だという学校もあります。

武 田 阿佐中の吹奏楽部も昔は朝早くから練習していましたね。
 石 井 楽器を演奏するだけでなく、校庭を走ったりしていた時代もありました。
 小 澤 全国レベルになると10月まで3年生も放課後練習をしている所もあります。
 柳 澤 杉一小、杉六小も吹奏楽に力を入れていますね。
 武 田 杉七小は太鼓です。小学生も頑張っています。阿佐中でも続けてほしいですね。



小 澤 2学期も半分過ぎました。このCSもあと2回で終了です。1月から新しい任期に
 なります。杉六も先月から学校運営協議会設置校になりました。再来年度には杉七も
 CSがスタートします。そうなればこのエリアのCSが完成されます。エリアでの複
 数校との交流や連絡会もやっていきたいです。

鈴 木 小・中連携で1つのCSを作ることも考えられるが小中では状況が違うので完全に
 1つにすることはできないでしょう。

小 澤 和泉学園は学校が小中一体型なのでCSも1つです。三鷹やほかの地区の小中一貫
 校もありますが、それぞれ活動しても連携してもよいことにはなっています。

鈴 木 富士高は中高一貫でPTAもおやじの会も一つでした。大人数でやっていました。
 武 田 阿佐中は杉六・杉七と漢検英検などの検定試験を合同でやってきました。今は授業
 の合同はやっていないので、今後検定はまたもとに戻そうかと話し合っている所です。

小 澤 出前授業も取り入れていこうという話もでています。子どもたちの活動に力を入れ
 ていきたいです。来年の「子ども未来サミット」をどうするか…。杉並は4つの分区
 でやっているのですが、やり方を変えていっても良い。生徒会の活動を大事にしてい
 きたい。単体の交流をベースにしてどういう発表をするか…。参加する児童も6年か
 ら5年というようにして阿佐中サミットがベースになっていくと思う。

石 井 阿佐中は他の学校と比べ分区の学校との連携がとりやすいですからね。

- 鈴木 木 どういう交流をしているのか見てみたい。ビデオなどはないんですか？
- 小澤 澤 ビデオは撮っていませんでした。紙ベースの記録ならあります。
来年3月にグループ発表をします。今までは6年生が主体でしたがこれからは5・6年生を対象にしたい。
- 石井 せ せっかく交流をしても6年生の中には私立の中学校に進学してしまうお子さんもいます。阿佐中に入学してその交流を生かしてほしいところですが…。
- 小澤 木 それもあって5年生を主体にということも考えています。
小学生の発言を中学生がどう受け止めているのか興味があります。
さて、先生とのCSのヒアリングのお知らせを大石さんに作っていただきたい。時期と内容等について御意見をいただきたいです。
先生方のご負担も考えると、対象者の中から何名かに来ていただいて委員を多めにしたい。各学年に何名か、若い先生方に来ていただいて大変なことが何かあれば話を聞きたいと思っています。
- 小澤 木 あまり時間もないので、全員のヒアリングは無理だと思います。年齢等のバランスを見てやっていただければと思います。
- 横山 大石さんの作ってくださった先生方へのお知らせをベースにしてはいかがでしょう。
- 鈴木 木 次回までに個人で考えをつめてください。会議を終わります。
- 小澤 木 では、阿佐ヶ谷ジャズストリートの催しでもある、阿佐ヶ谷中学校吹奏楽部の演奏を聞きに行きましょう。

